



液状化恐れ地盤強化

液状化恐れ地盤強化

きっかけに、「地域の
お年寄りたちを災害か

が、正しい対応かどうか「ある」と心配する。現在も「警

る人は、

避難遅ら

津波警報が発令されたにもかかわらず、海岸を訪れる観光客ら＝2月28日、静岡市清水区の三保の松原で

二月下旬のチリ地震による津波で住民の避難行動の在り方があらためて問題になった。静岡大防災総合センターの牛山素行准教授（災害情報学）は三月、調査会社を通じてインターネットで沿岸約2千以内に住む人を特定し、ウェブアンケ

を実施。静岡県
六十人、岩手
県で計二百二十
計四百八十九
があった。
果では「指定避
に避難」と答
2・7%しかい

なかったが、何らかの形で海岸から離れていた人は25・8%、「建物内避難のみ」が8・2%、何らかの形で避難行動を取る警報が、「いらない」は63・4%だった。牛山准教授は「ほぼ四割の人は機能している可

「津波の的に明い見方をしてしつとしまう」楽観主義のバリエーションとして「大津波を繰返す」と危ぶ「イアス」を強める、と示されたとえる。

スマトラ地震大津波を例に、「大津波を経験した人に「また津波が来る」と言えは先手として逃げるはず」と断言。実際、戦時中に空襲警報など警報にと

す「正常性バイアス」

危陰

助け合おうとする心根が
強くなるからだ。
現状では、強い正義



されたにもかかわらず、海岸を訪れる
 8日、静岡市清水区の三保の松原で

●正常性バイアスの仕組み

The diagram illustrates the mechanism of Normalcy Bias. It features a central box labeled '正常性バイアス' (Normalcy Bias). To the left, a large arrow points right towards the box, labeled '「安全だ」という気持ち' (Feeling of 'It's safe'). Above the box, a horizontal arrow labeled '移動' (Movement) points to the right. To the right of the box, a large arrow points left away from the box, labeled '人間' (Human). The text '正常性バイアス' is also written vertically to the right of the box.

「安全だ」という気持ち

移動

人間

正常性バイアス

訓練を
 密な体の影響がある
 程の心理的な
 う。日常生活
 形に訓練が有
 だした。

余りある。そ
 ないが、それ
 がなげ
 意る。訓練で出
 前スス認のよ
 兵 例が世論にも必
 兵 イー(仮想現
 考

増大(強まる)
 移動
 正常性
 「危険だ」
 という気持ち

弱まる(弱る) 減少
 弱まる(弱る) 減少

害の拡大につながったとされる。避難が遅れ、死者百九十二人を出た。

世界で起きた バイアス悲劇

一九七七年五月、米ケンタッキー州のクラブで百六十四人が死亡した大火災でも、ボーイが「火事です。近くの出口から慌てず逃げて」と呼び掛けたも、客たちの反応は鈍かった。コメディアン・ショウの一部だと思われ、火事と気が付くのに一分はかかったという。

○一年九月の同時多発テロで旅客機が突っ込んだニューヨークの世界貿易センタービルでは、警察の誤ったアドバイスが正常性・バイアスを高めたといえる。北棟六十四階の公社職員がすぐに避難すべきを尋ねると、警察署は「動かないでください。警察官の来るのを待って」と指導。ブロの言葉を過信した結果、避難は一時間後になり、多くの人が地上までたどり着けなかった。（安田功）

備える

その89 「災害の心理学」

広瀬弘忠 東京女子大教授

ひろ
42（昭
まれ。
著書は
くれる
論」（
「無防
くま新

具体的に必要な訓練とは？

文字や映像だけで災害の恐ろしさを知るのには、

ば入院患者がいる状態
で避難訓練をするもの
いい。現実味を帯びた
状況を演出しなければ
いけない。

吉岡、災害で生き残

た対向電車で、煙が立ち込める中、ハンカチで口を覆いながら車内でじっと待つ乗客の姿が撮影されている。「安心して下さい」との車内放送も流され、運行側が乗客のパニックを恐れて情報を出さないのと、乗

津波の避難勧告が出ても避難しない人が問題になっている。「自分は大丈夫」。そんな根拠のない気持ちを抱いてはいないだろうか。そんな心には「正常性バイアス（偏見）」が強く働いていると災害心理学の専門家、広瀬弘忠（東京女子大教授）は言う。打ち破るにはどうしたらいいのかを聞いた。（中村慎一郎）



ひろただ 19
7)年東京都生
京大文学部卒。
人はなぜ逃げお
か」「災害防衛
土集英社新書)
な日本人」(ち
など。

する前に、「危険だ」を活用して造った装置と行動できる。兵士ほどでも、かなり現実に近い体験ができるかもしれない。予告せず、拔いてしまったら、主き「心で実地する方だ

韓国・大邱^{テグ}市で発生した二〇〇三年二月の地下鉄放火事件は、正常性バイアスが招いた災害での悲劇の象徴的な例だ。

危険性直感でできる訓練を

一九五四年、青函連絡船の洞爺丸が沈んだ。

一九七七年五月、米ケンタッキー州のクラブで百六十四人が死亡した

世界で起きた
バイアス悲劇

韓国・大邱市で発生した1003年二月の地下鉄放火事件は、正常性バイアスが招いた災害での悲劇の象徴的な例だ。

放火された車両から火が燃え移った対向電車で、煙が立ち込める中、ハンカチで口を覆いながら車内でじっと待つ乗客の姿が撮影されている。安心してくださったこの車内放火送も流れて、運行側が乗客のパニックを恐れて情報を出さないのと、乗客側の正常性バイアスが重なり、被害の拡大につながったとされる。被害が遅れ、死者百九十二人を出した。

© 中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています。